

## 米国トランプ政権のエルサレム首都認定の撤回を！

パレスチナ、イスラエル・・・WIDF各国団体が抗議

エルサレムをイスラエルの首都と認定するという12月5日のトランプ政権の決定に対し各国から抗議の声があがっています。

婦団連は、決定のすみやかな撤回を求め、イスラエルの占領地か



らの撤退、パレスチナの独立国家樹立を含む民族自決権の実現など、中東問題の公正な解決のために今後も力を尽くすという手紙を国際民婦連（WIDF）加盟団体に送りました。

\*WIDFは、大会決議で毎回パレスチナ人民と女性への連帯を表明し、イスラエルによる占領の終結、東エルサレムを首都とするパレスチナ独立国家の樹立、難民の帰還権の保障、パレスチナ人捕虜の解放、人々を分断する分離壁の撤去を求めています。

### WIDF各国加盟団体の声

#### パレスチナ女性総同盟（写真）

「トランプ大統領の決定は、エルサレムの地位は交渉でのみ決定されるという、国連決議478などの確認を葬り去るものです。人権と国際法秩序を重視する世界の全民主勢力は、独立国家を建設するパレスチナ人民の権利を守ってください。全世界が今回の決定への抗議・非難をすること、パレスチナ問題の公正で包括的な解決をめざし、国連の枠内での国際会議をひらくことを呼びかけます。」

#### イスラエル民主女性運動

「私たち、イスラエルに住むアラブとユダヤの女性たちは、トランプ大統領が決定を撤回し、イスラエル・パレスチナ紛争の解決、独立した2国間の公正で永続的平和の実現のために積極的役割をはたすことを求めます。」

#### WIDFアラブ地域センター、

「WIDF加盟団体が、歴史の流れおよび人びとの法的権利と民族の権利に逆行するトランプ政権の、凶悪で不公正で軽率な行為に対する抗議の声をあげ、現在危険な状況に直面しているパレスチナ女性への連帯を、全世界の女性に訴えることを求めます。」

\*

その他、イタリア、キプロス、ギリシャ、ポルトガルなど多くの国から抗議の声があがっています。

#### ▼2018年国際女性デー中央大会

3月8日（木）18:30～品川きゅりあん  
講演・安田菜津紀さん

フォトジャーナリスト

#### ▼『婦人通信 2・3月合併号』

国際女性デー特集 1月末発行